

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とうきょうはいゆうせいかつきょうどうくみあい 東京俳優生活協同組合	団体ウェブサイトURL	http://www.haikyo.co.jp
代表者職・氏名	理事長 朝田孝二		
制作団体所在地	〒 151-0051	最寄り駅(バス停)	代々木駅
	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-11-13		
電話番号	03-3356-7521		
ふりがな 公演団体名	げきだんはいきょう 劇団俳協	団体ウェブサイトURL	https://haikyo.co.jp/theatrical/
代表者職・氏名	劇団代表 市川勉		
公演団体所在地	〒 161-0034	最寄り駅(バス停)	下落合駅
	東京都新宿区上落合1-17-9		
制作団体 設立年月	1960年 5 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 朝田孝二 専務理事 池谷雄一 常務理事 千葉茂 理事 米田雄司	理事執行部12名、職員33名、組合員378名 加入条件は当組法定款第2章第6条、第7条、第8条に準ずる。	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名	土岐利臣
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	池谷雄一

<p>制作団体沿革</p>	<p>1960年・・・5月29日前身のTMCを経て俳協の創立。新宿三栄町に事務所を設置、出演事業部・供給部を開設。 1966年・・・千駄ヶ谷に土地・家屋を取得し事務所を移転。制作事業開始。 1967年・・・共済部開設。 1972年・・・新宿区上落合の「群像ビル」取得。俳優養成事業開始。 1976年・・・劇団俳協の前身「虹のファミリー劇場」全国公演スタート。 1980年・・・創立20周年を記念し千駄ヶ谷事業所隣接地購入。 1982年・・・千駄ヶ谷事業所ビル(現ビル)完成。上落合事業所内に劇団俳協・舞台美術部を開設。 1998年・・・上落合事業所リニューアルオープン。フリースペースTACCS1179が同時オープン。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2017年度「あらしのよるに」 37公演(新潟市内小学校巡回公演) 2018年度「あらしのよるに」 4公演</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2017年度「あらしのよるに」 1公演(新潟市内小学校巡回公演)</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/G_6OG0upOyk</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団俳協 】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)		
	小学生(高学年)		
	中学生		
企画名	ミュージカル「あらしのよるに」		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	あらしのよるに 作 きむら ゆういち 脚本 西川 徹 演出 伍堂 哲也 音楽 竹田 えり 振付 坂口 江都子 公演時間 87 分		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	【あらすじ】 それはあらしのよる。 まつくらな山小屋で、ヤギのメイとオオカミのガブが出会います。 そして、たがいに相手が誰だか分からないまま友達になってしまいました。 食べる方と食べられる方が仲良しになり、ハラハラドキドキ、スリル満点の友情が続いていきます。 しかし、ヤギとオオカミの、それぞれの仲間から攻めたてられ、仕方なく群を離れるガブとメイ。 その行く手には吹雪の山が…。		
演目選択理由	オオカミとヤギが友だちになんてことはあるのだろうか？それは「食うものと、食われるもの」＝「敵同士」の関係。ひょんなことから2人は出会い、お互いを思いやり、やがて切っても切れない友情が芽生える。この関係は、私たちがとりまく様々な関係にも見て取れます。世代の対立、人種の対立、宗教の対立、自我の対立…。 「他者の差異を受け入れること」、即ち人間の持つ普遍的なコミュニケーションを前提に発露する自我の確立を謳い、次代を担う子どもたちへコミュニケーション教育の一つとして提供出来るドラマであると考え、ご提案致します。		
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	公演前に事前WSを通して、劇団員と交流を図ります。アイスブレイクを通して緊張した心と身体を解し、少人数表現活動による演劇コミュニケーションを体験します。その後劇中のオオカミの動きを体験し、公演本番に出演する20名のオオカミ役を決定致します。本番はオオカミに扮して登場し共演して頂きます。		
出演者	丸山拓真 綿貫友哉 菅原孝仁 郷寛樹 岩戸瞳 高橋夏生 福浦麻子		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 7 名 スタッフ: 9 名 合計: 16 名	運搬	積載量: 3.5 t 車長: 7.02 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	7時45分	8時～12時		13:00～14:40	10分	15:10～17:40	18時00分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	0日	0日	0日	9日	20日	
	11月	12月	1月	計	69日	
	10日	15日	15日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20名
		鑑賞人数目安	400名

[画像1_舞台設営img]
体育館フロア(体育館
既設ステージとは逆)
にて舞台設営。
【舞台エリア】
間口12.0m
奥行11.0m



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

[画像2_上演の様子]



【公演団体名 劇団俳協】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20名～60名(小学生3～4年生対象)
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>参加児童は3、4年生対象。20名～60名以内。 指導者1名、補助者5名にて実施。実施場所は体育館を想定。 マイク、音響機材等(再生機)備品借用致します。</p> <p>実施時間90分(前半A～C45分、後半D～E45分)</p> <p>A導入→諸注意と、実施目的を伝えます。 Bアイスブレイク→ジャンケンを使ったゲームを通して、緊張した参加者の心と身体を解放致します。 C少人数表現活動→指導者が出したお題に対して、2～3名で身体を使った表現。その後人数規模を拡げたグループ分けをして実施。 共演シーンの体験へと進めるために、コミュニケーションに必要な「協働」「遊び」「自己発信」「よく見る」「よく感じる」「想像する」を養う。 D共演シーンの指導、体験→共演シーンの確認。事前に配布したオオカミのダンスの映像を見て練習をしてくる。 E共演児童の決定(最大20名)、振り返り→共演児童を決定します。本番に向けて課題と練習の確認をします。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>表現活動を通してコミュニケーション(自分の意思の伝え方や言葉の使い方の大切さ、友達と自分との言葉や表現の違い、感覚や受け止め方の違い)の向上を図り、表現の楽しさを知る。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等			